

本邦における小児侵襲性肺炎球菌感染症を引き起こす肺炎球菌血清型に関する サーベイランス 2026～2028 年：ニューモキャッチ 2 —マイクロバンクへの保存方法—

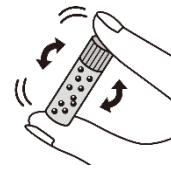
検体発送まで、以下の手順に従って菌株をマイクロバンクへ保存いただきますようお願いいたします。

- (1) 18～24 時間純培養した検査対象となる幼若菌を滅菌綿棒等でとり、マイクロバンク（バイアル）中の液体培地に濃度がマックファーランド# 3～4※（約 10^9 CFU/mL）に相当するように浮遊させます。

※ マックファーランドとは菌液の濁度から菌量を推定する際に用いる単位です。



- (2) 浮遊菌をビーズに付着させるためマイクロバンク（バイアル）を 4～5 回上下（転倒混和）させます。

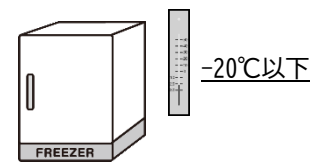


- (3) 滅菌ピペットでビーズの上面程度まで浮遊菌液を吸引してください。菌液を完全に吸い切らないようにお願いします。



※ 1 症例あたり 1 検体のみ出検することが可能です。複数部位で肺炎球菌が検出された場合は、疾患に最も近い無菌部位の検体をご提出ください。

- (4) 検体提出までマイクロバンクをフリーザー（ -20°C 以下）に入れ適切に保存してください。



「マイクロバンク」が必要な場合は、事務局よりご提供いたしますのでご連絡ください。

なお、マイクロバンクには有効期限がございます。そのため事務局では、キットの期限管理の観点から「菌株が発生（必要）した時点」で速やかに送付することを想定しております。すでに保管対象の菌株があり院内手続き中に保管が必要な場合や、マイクロバンクの早期受領をご希望の際はお送りいたしますので、お申し付けください。

ニューモキャッチ 2 研究事務局（株式会社 CTD）
代表：03-6228-4835
E-mail：info@pneumocatch.jp